

福島 芸能の灯消さず

— 震災を生きる人々 —

写真・文 菊池 和子

A5判並製 カラー32ページ+モノクロ128ページ 本体2,000円 (税別)



ISBN 978-4-902443-47-9 C0072

I 写真 芸能の灯 消さず

II ルポ 芸能の灯

福島の太平洋沿岸（浜通り）は、民俗芸能の宝庫だった。

東日本大震災の津波は、多くの人々の命を奪い、福島第一原発の事故は、地域を崩壊させた。そんな中で萎えそうな人々の心を芸能がかろうじてささえている。

- | | |
|-------------------|---------------------------|
| 1. 相馬市 原釜の神楽 | 7. 浪江町 南津島の神楽・神楽七芸・田植踊り |
| 2. 浪江町 請戸の田植踊 | 8. 双葉町 前沢女宝財踊り |
| 3. 双葉町 三字の神楽 | 9. 南相馬市原町区 北萱浜の神楽と天狗舞 |
| 4. 南相馬市小高区 村上の田植踊 | 10. 浪江町 川添の神楽 |
| 5. 大熊町 熊川稚児鹿舞 | 11. 双葉町 渋川の神楽 |
| 6. 飯館村 小宮の田植踊 | 「民俗芸能を継承するふくしまの会」懸田弘訓氏に聞く |

【著者プロフィール】

1945年、中国石門市(現河北省石家荘)生まれ。東京学芸大学卒業後、東京都公立小学校教諭となる。2000年教師を退職し、02~08年ポルトガル・リスボンに住む。12~15年現代写真研究所「女性教室」にて講師を務める。東日本大震災以降、釜石3部作『大震災の爪あと』(2012)、『私たちは生きている』(2013)、『葉脈の街に明日を探して』(2014)、福島を写した『フクシマ漂流』(2015)、『フクシマ無念』(2016)、『この大地奪われし人々』(2018)を発表(いずれも遊行社刊)。各地で写真展・スライドトークを多数開催。

ゆぎょうしゃ
遊行社

〒160-0008 東京都新宿区四谷三栄町 5-5-1F Tel. 03-5361-3255 Fax.03-5361-1155
E-mail morgen@vesta.ocn.ne.jp URL <http://yugyosha.web.fc2.com/>

注文書

書店印

注文/委託

冊

福島 芸能の灯消さず

— 震災を生きる人々 —

写真・文 菊池和子

定価(本体2000円+税)

ISBN978-4-902443-47-9 C0072 *2000E

ご注文先

取次: JRC

TEL: 03-5283-2230

FAX: 03-3294-2177